

さまざまな分野で“がんばる”長崎市民をご紹介します!!

ながさきメーカー

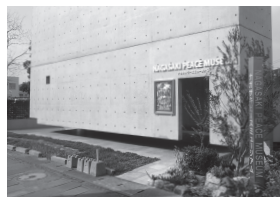
長崎maker

今月のmaker ナガサキピースミュージアム
ボランティアスタッフ 藤川 美穂子 さん

芸術・文化的な展示などとおして平和を考える「ナガサキピースミュージアム」。ボランティアスタッフのひとり、藤川さんを紹介します。



“未来の子どもたちに平和な地球を!”のテーマで、被爆から50年目の年にさだまさし氏が設立したNPOによって、



ナガサキピースミュージアムは開館された。同館は広く市民に開放され、戦争や原爆だけでなく芸術・文化を中心とした幅広いテーマの展示をするほか、誰にでもできる平和への取り組みを提案している。

松が枝国際ターミナルの間近にあるナガサキピースミュージアム

30年以上、看護師として勤めた藤川さん。「何か新しいことを」と考えていた昨年の夏、ある募集記事が目にとまった。同館が福島県の小・中学生を長崎に招く際、子どもたちの身の回りのお世話をスタッフの募集だった。事業は無事に終了し、子どもたちを見送った後、「昔から好きだった長崎で暮らそう」と決めた。

家族の理解もあり、今年4月から長崎に移り住んで、同館の活動資金のためのフリーマーケットなどに参加している。現在は、スタッフ活動のほか、まち歩きなど充実した毎日を送っている。

「いろいろな人と会えることが嬉しい」と藤川さん。藤川さんの笑顔は、“平和のために自分にできることを”という同館のテーマを語っているかのように。



今年も福島から小・中学生を受け入れることに(写真は昨年の様子)

働き盛りの長崎人をクローズアップ!!

はたらきびと 輝く働き人

三菱日立パワーシステムズ株式会社
深谷 賢太郎 さん

平成26年2月に三菱重工と日立製作所の火力発電システム事業を統合してできた新会社。開発からアフターサービスまでのすべてを自社技術で賄うことができる企業。深谷さんは今年で入社8年目。



Q1.この企業に就職した理由は?

長崎で生まれ、長崎港内で船が建造される様子や工場のある風景を見ながら育ったので、「大きなものづくり」への漠然とした憧れがありました。



次世代の火力発電システム「石炭ガス化複合発電(IGCC)」

また、当社が火力発電の他、省エネや新エネルギー、環境保全などといった、人々の生活に欠かせない分野に関するものづくりを行っており、世界中で大きな役割を担っているところに魅力を感じたからです。

Q2.担当業務は?どんな時にやりがいを感じますか?

社員の異動管理・表彰などを担当する傍ら、事業統合に伴う規則制度統合のプロジェクトに携わっており、他地区の人事担当者とは日々打ち合わせを行っています。

当社には1人で完結する仕事は無く、多くの人々が密接に関わって進みます。

これまで仕事で出会った多くの人々に支えてもらったから、頑張ってきた実感があります。こうしたつながりが増えることがとてもうれしく、やりがいでもあります。



毎年恒例の所内駅伝大会で、日頃のチームワークを発揮(?)

Q3.今後の目標は?

当社は火力発電・環境事業市場で世界ナンバーワンを目指しており、活躍の舞台は世界中に広がっています。

私も国内外で活躍できる人材になりたいと思っていますし、会社の変化と成長を人事面からサポートできるよう、自身の業務の専門性を高めていきたいと考えています。



インドの発電所建設現地で、派遣者の生活支援を担当したことも